



三学期始業式

令和7年1月9日、三学期がスタートしました。登校日数は47日間と1年間の中で最も短い期間ですがとても大切な時期です。

三学期の始業式は、冷え込みが厳しく感染症拡大防止のためオンラインにて行いました。各学年代表の生徒から三学期に頑張りたいこととして下記のように発表がありました。

- 勉強と部活動を両立し、毎日のことをこつこつと行う。
- 凡事徹底を意識した生活。当たり前のことを当たり前に行う。
- 苦手なことにも力を入れる。残りわずかな中学校生活の中で友との思い出をつくる。

各学級での様子からも、全校生徒一人一人が新学期を迎えるにあたりそれぞれ目標をもって取り組んでいこうと意欲を高めている姿が見られました。学校長から下記のように話がありました。

- 三学期は未来に向けて自分を投じる準備の時期
- 投じるための力がないと自分は投げられない。
- 鍛えるためには苦しくても愚直に行う。
- 頑張るあなたを応援する人がいる。
- みんなで協働して一つ一つを積み重ねる。みんなの力で足場を確かにする。みんなで協力して足場を鍛えていく。
- お日様の温度を上げていこう。

それぞれの決意を胸に精一杯取り組んでいってほしいと思います。生徒一人一人が自分の目標に向かって進んでいけるよう保護者の皆様、地域の皆様、引き続きお支えいただきますようお願いいたします。

SOS の出し方に関する学習 (1 学年)

令和6年12月17日(火) 養護教諭と上田市健康推進課の保健師、スクールカウンセラーによるSOSの出し方に関する学習を行いました。自分の悩みや友からの相談に適切に対処するための方法等大切なことについて学びました。思春期は心や体に大きな変化が現れる時です。改めて「一人一人輝くために生まれてきたこと」「一人一人かけがえのない大事な存在であること」について確認しました。苦しい時はいつでも「SOSを出してよい」と感じるができたらしと思います。

～振り返りより～

- ・今まで友達とかに相談されてもなんて返せばいいのかわからなくて言葉が詰まってしまったこともあったけれど、今回の話を聞いて相談している側の人はいくつかのことを言われたら悩みが軽くなるのだなということを学べてよかったです。
- ・自分が悩んでいるときに友達や先生、家族などに打ち明かせるか不安だったけれど、「もし悩むようなことがあったら相談しよう」という気持ちになりました。

